



# 住民パワーでポートピア撤退!

## 宮城県石巻市のポートピア (オラレ) 計画中止

(オラレ: 小規模ポートピアのこと)

### 石巻市

### 津幡町

2006年 青梅市と行政間協定  
 2007年 国土交通省の申請・認可  
 母親連絡会や市民団体が反対  
 (説明不足、ギャンブルへの懸念)



議会も反対に転ずる

2008年6月 市長も誘致断念し計画中止

2008年 みどり市と行政間協定

津幡町では、国交省への申請もまだです。  
 まだ遅くはありません。  
 私たちの町の将来に悔いを残さないために、何としても撤退させましょう!

## 実現可能か? WF企画(推進業者)の資料

9月議会にポートピアに関して、「風」から請願を出し、WF企画が3年前に舟橋区の役員班長会で配った資料内容の調査を求めました。しかし、14対3(前田、中村、塩谷議員)で不採択になりました。

※WF企画の資料(役員班長会に同席した当時の山崎議長が認めた資料。全文はつうしんNo.7に掲載)

### WF企画の資料(★)によると

★ 毎年、町に1億円以上の自主財源がうまれる。とあるが?

実際は「ポートピアなんぷ」では、平成19年度は、固定資産税や環境整備費など合計約1300万円だった。

★ 木採用として、100人程度の雇用が見込める。とあるが?

実際は「ポートピア津幡関係資料」によれば、ほぼ全員が時給800円程度のパート、アルバイトである。

★ 整備体制が徹底され、逆に安心を与える。とあるが?

今の方が安心。不安材料がない方が、より安心。



## ポートピア誘致に賛成の議員の声



村町長

ポートピアへ、行くか行かないかは、本人の自由であり、自己の責任で満足してもらうもの。極論すれば、商品の購入と同じ。

「ポートピア誘致が決まったのに、いつまでも反対している「風」にはついて行けん。」と町の人みんなが言うてる。もう決まってしまったことをいつまでも反対するな！



本当にそうでしょうか。町の人々の声を読んでください。あなたはどのように思いますか？

町の収入を増やすのに、ギャンブルでしか増やすことができないという、村町長と賛成派議員の発想の乏しさが非常に情けない。

(英田地区 40代 男性)

ポートピアをきっかけに、「議会だより」を丹念に読むようになった。「町議会」も傍聴に行ってきた。議会では、質疑応答がきちんとされなくて、もどかしい思いをした。反対の意見も町民の意思を反映しているのだから、ちゃんと耳を傾けて欲しい。これでは、学級会で活発にしっかりと討議している子どもたちに恥ずかしいです。

(中条地区 50代 女性)

そもそも、「ポートピア」というネーミングが気に食わない。

いっそ、「ポートピア」とか「ポート賭博(とばく)」とでもしてくれたなら、だまされる人もなく、誘致に賛成しようなんて考える人もいなかったと思います。

(中条地区 50代 男性)

公営ギャンブルとはいえ、今まで無かったポートピア(ギャンブル場)をわざわざ町内につくろうなんて、そんなバカな！信じられません。不安です。村町長・議員の皆様、この不安をとりのぞくため説明会を開き、これまでのこと、今後のことについて是非お話しください。

(井上地区 50代 女性)

## 町の人々の声

たくさんのお声をいただきました。

正しいことを正しいと言ったら、隅に追いやられる町。

(津幡地区 50代 女性)

村町長をはじめ町議会の一連の対応を客観的に見ていても「ポートピア津幡」は最初から民意を問うなどと言う考えはまったくなく、「ポートピア建設ありき！」からスタートし、すべてが進んでいるように思えてなりません。

こうした村町長や賛成派議員たちを選んだのは私たち自身であることを思い、再び過ちをおかさないことと、今から何ができるか考えようではありませんか。

(津幡地区 60代 男性)

反対署名の町民の声をもっと大切にしてください。地方自治は「民主主義の学校」のはずです。住民投票で町民の意思を確認して欲しいです。

財政についても、ポートピアで収入増をねらうのではなく、地元の特産を活かしたり、支出の見直しを図ることで健全財政を目指してほしいものです。

(倶利伽羅地区 40代 女性)

ギャンブル場ができて、どうして安全安心な町ですか？

(中条地区 30代 男性)

どうなっとらんか、どこまで進んどらんか、全然わからんし、本当にできらんかいや？ポートピアは津幡にとって必要なかね？本当はいらんがにね。そんなもんで町がうるおっても、子どもたちに胸張って言えんわ。

(英田地区 50代 男性)

娘の小学校のPTA総会でポートピアについて勇気を出して発言してみました。しかし、もみ消された上に校長から怒鳴られました。他市町では、教育関係者や子を持つ親が一丸となって反対し、建設差し止めに成功したと聞いています。

町民の声をもっと挙げていきましょう！

(中条地区 40代 女性)

今でも、本当にこの町にポートピアは必要なのかと思う。財政難ならもっと別の方法で、知恵を出して欲しい。あの(立地予定場所)前を通るたびに不安になる。町側のなんでもないような静けさが不気味で、自分たちのわからない所で、どこまで進んでいるのだろう~とか、もしかしたらこのまま静かに、なくなっていくかも~などと期待したりする。

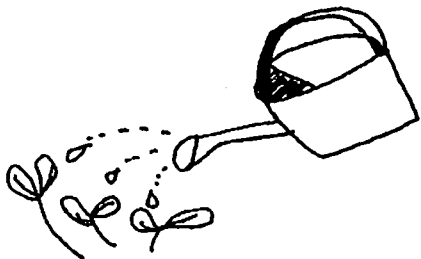
転居を考えたが、子どもたちは変わりたくないと言うし……。

(津幡地区 40代 女性)

時代の流れに逆らっている。

ただでさえ不景気なのに、なぜギャンブル場を増やすのか？最初は人が来るけど、絶対来なくなると思う。ムダだと思う。

(英田地区 20代 女性)



## みんなの声で町を育てましょう

我が子にとって「ふるさと」になる町が、ギャンブルの町になるなんて、親として恥ずかしい。町はどうして一般の町民の意見に、耳を傾けてくれないんだろう？意見を出す場も、説明会の一つもないなんておかしい。なんか怪しいぞ、と不信感がつのります。ポートピアの情報源は今や「風」つうしんだけ！知らないから知りたい母親です。

(井上地区 40代 女性)

石川高専の教員をしています。今年、競艇の舟券を学生も購入できるよう法改正されたことは、本来勉学に励むべき学生を賭博場に連れ込み、金銭を巻き上げようという呆れ返る改悪です。

しかしそうであっても、行政は、学生が舟券を購入できないように手立てをとることができます。にも関わらず、津幡町では、そのような措置は採られていないということです。法に触れないから、とって学生に賭博場への出入りを認めるという町の態度は、さらに呆れ返ったことと言わざるを得ません。

私の勤務する石川高専の学生が、日本で初めて合法的に賭博をする学生になるかと思うとゾッとします。これは石川高専だけではなく、医科大、県立看護大など近隣の大学を巻き込んだ大きな問題です。

ポートピアは町の財政源になるとのことですが、学生から巻き上げてまでわずかな予算を増やそうとするのでしょうか。我が町がさびしくてなりません。

(津幡地区 50代 男性)

## 学習会

# 夢ある「まちづくり」を！

私たちの住んでいる津幡町のまちづくり！  
あなたも夢をいだきませんか？  
まちづくりの事例に学びつつ  
子どもたちがよろこび継承するふるさとづくりを！

日時：2008年10月25日（土）夜7時から9時

場所：津幡町文化会館シグナス パソコン室

講師：宮森俊英氏

（石川県社会教育センター登録講師）

主催：市民グループ「風」

問合せ：076-288-2130

入場無料



ふるさとがギャンブル依存で町興し

能瀬 シャンおち

いたわりもほしい後期の保険料

菩提寺 よし一

住む町がよこんできますポートピア

津幡 風子

## 【本の紹介】

ははきぎほうせい  
『ギャンブル依存とたたかう』 帯木 蓬生 著（新潮選書）

定価：本体 1000 円（税別）

まだ、あまり知られていないが、「賭け事にのめりこむギャンブル依存症（病的賭博）は、れっきとした病気である。」小説家であり、精神科医でもある著者はそう言い切っている。

もともと人の脳には、ギャンブルという落とし穴にはまりやすい仕組みがあり、ふところ具合に関係なく、誰もがおちいる危険性があるという。日本で、ギャンブル依存症は約200万人。その害は、本人だけでなく家族や周囲にもおよぶため、実際に苦しめられている人の数は、1千万人以上とも。

さらに著者は、行政は、競馬、競輪、競艇などによる収益だけでなく、その陰にひそむ種々の障害をも頭にたたき込んでおくべきである、行政の知恵はもっと他の分野に向けられていいはずだと、警告している。

**編集後記** ポートピアは百害あって一利無しのギャンブル場、そのことを多くの住民に知っていただきたいです。村隆一町長と議会は、私たち住民がそのことを知らないうちに作ってしまおうと、説明会の開催をかたくなに拒否しています。「こういう進め方は変だ…」という声が数多く聞こえてきますが、どうしてこのようになったのか。私たちはもう一度、この津幡町について、反省をこめて考えていきたいと思っています。

つうしん第8号は、これまでお聞きした町の人々の声をたくさん載せました。一人一人の声をつなげて、さらに大きな力にしていきたいものです。